坂本/俊篤男(公正)間宮林蔵

寶.名間:

提出意識院送闸〉第一讀實

「東京十六日登」十六日の衆議院 (野) 東京十六日登二十六日の衆議院

正は閣議に諮つたか

砂・む 出・氏・

帝國醫會を何さ心得る一

決意字面たる」と今議會は脚りなりに哪歩け得る就行するまで 鎮静する に至った、しか

漢口危險

線は列車不通

と野際類りに強火を放ち電験を構成して、 というは、 といいは、 といい

の意氣を以て金解整

約五十分に取って提案理由の説

マ木行忠侯外十二名發来權益確保に關する決

、議案を

會議(十六日)

を全日この儘で放任する事は で不認び得ない處である で不忍び得ない處である

、この時点心臓長

男寫傻本坂

番議打切の動議

議場混亂に陷

衆議院豫算總會(+六日)

本は満洲を除外例とし支那の希望を容れる意嚮らしいる形勢が見える、列國は刑事問題公判に條件を附し英米は上海、日の形勢が見える、列國は刑事問題公判に條件を附し英米は上海、日本は満洲を除外例として、

日本の借欵妥協案

希望を容認か 小順大議政務火館の説明あつて拡 監護祭歴委覧會に係訟 で木銀橋の説明あつて十五名の委 で大銀橋の説明あつて十五名の委

一、重要産業の統制に関する法律ととは事業を見會に休託 製鐵業獎勵法中改正法律案へ 藤村義朗男へ公正)本法は自由競争を抑壓し獨占の弊を助長 し且つ市債品上げを齎す反産業 合理化の法律ではないか て十製頭に取って

決議文と理由

機してゐるもこれらは寒謐を恐れるためで内覧は日本の影後安臨素を認めるものとみらるで、支那瞻はこの程能数は反革命能に使用したもので献じて承認する能はずさ同の範閣だる不確覚情数に転じ日本は三分の二を切り捨て愛る三分の一た整理案の中に加へられたも同の範閣だる不確覚情数に転じ日本は三分の二を切り捨て愛る三分の一た整理案の中に加へられたも同の範閣である。最近支那瞻い能質なに<equation-block>戦さして態へられることろでは内外儀察理のうち日支

助もせば我條約上の機益を阻害が政府との交渉容易に進動せず難言したり、爾來ソウエート聯建言したり、爾來ソウエート聯を言したり、爾來ソウエート聯 決せる北洋漁業概益確保 官邸で静養 濱口首相け

決議交左の処し

登院せず官場に於て継続する事にる程の重要職業なきため十六日は

は象分益々輕快で置力も耐水回復に東京十六日登』今朝の濱口首相 首相體力恢復

氏は今朝海山首根を訪ふたが潤口氏は今朝海、鷹、窩山、田中及三木の都 養されたいて熊養を飲め首根たので一同は今日一日ゆつく

追加豫算は主管大臣の出席で一 成に水豫算案で

満鐵重役

會議で決定

蛇角

した 流鐵重役會議に十五日午前より流 した 流鐵重役會議に十五日午前より流 で徐極殿製についても決定な見た 社の本社第元の法律上、および人 事上の張騰についても決定な見た を一覧を微線に交大虎山より鑑山 事上の張騰についても決定な見た を一覧を微線に交大虎山より鑑山 事上の張騰についても決定な見た を一覧を微線に交大虎山より鑑山 事上の張騰についても決定な見た を一覧を微線に交大虎山より鑑山 を一覧を微線に交大虎山より鑑山 を一覧を微線に交大虎山より鑑山 を一覧を微線に交大虎山より鑑山 を一覧を微線に交大虎山より鑑山 あるさ 【季天電話】

プルのせいか 0

新機道酸代表アニケア氏東京で 新機道酸代表アニケア氏東京で 歌されないのか。それはベンテリ本屋の不驚ばり引き下げがなども

人がある。では無常保険と始めま

漢吉語印

古標に御注意を乞ふ、 古標に御注意を乞ふ、 藥店にあり

特約店 大連市温速町

H

本賣樂株式會社

が樂になる。

大り、変もあり、子もり。 ●「スペロイン」は他にない新聞見刺 感を異へて気持ちが非常によくな ●「スペロイン」はモルヒネやヘロイ なセキの設作が少なくなり返に起 り、心臓が禁々となり安眠出来る。 ですから薬効が一時的でなく引き して服用しても人態に害なく心配 限業の類ではないからイクラ連節 ン又はアドレナリンなどの様だ

樂價 一六 日 分一回、十五日分二回、廿五日分五回、百日 分十回 スペロイン酸質元 電話南四〇一五番、振替大阪市大阪市天王寺區東平野町三 〇本 ●「スペロイン」は百日 度、校育、神 迷はず今すぐ本際を 委しき説明書は禁に添附してあります。 らぬ様に丈夫な際質となる。 な卓効がある。 三十錢加



7. ツを主張す 9 の偶話

でつかりここなお説れしますって、置書してあるこ、窓の下って、置書してあるこ、窓の下のちを地にりが呼びかけた 低公は大きっ て何さいふ失躍なこさを申す の精粧ださいふ器でござります

ってはその聖人は今も生きて なつたお旅 「桃にも、 この輪作りに

英米は上海を除き

見込

田幸次郎、原脩次郎、 機くてもいかわも 医性書の末見

非立憲は 政友議員決議

せずさの容器

勸む

を で 大会は「地くまで 一、 本会議上程の際首相より綴めて 大会は「地くまで 一、 本会議上程の際首相より綴めて 一、 本会議上程の際首相より綴めて 一、 本会議上程の際首相より綴めて 一、 本会議上程の際首相より綴めて 一、 本会議上程の際首相より綴めて で 本会議上程の際首相より綴めて で 本会議という。 間は既に幣原

一世を打ち切るが針で躍むに決した。 地を打ち切るが針で躍むに決した。 では、この神田から強て海口首根が木日 がに出てやうさも賦乎さして質が とてゐるから野鷲が本川如何に暴 が本川如何に暴

内閣を改造して

の著後競及行 至らす驚内人心の鉱揺も一先づ一概印息も更生 た無楽動は六見等も表感化するに概の頻既は繁 ものあるた場で東第内に起りかけ 首相擁護派の善處策 一新か

0

市場單一 日支組合員賛成 補償金問題も容易に解決せる 制實施

は「なからうこ地) では、アンコロ線をさし上げればいくの能・神獣金を度外視してゐる向きも相ば、なが要求してゐるのは一部の施識を要求してゐるのは一部の施識なを関東長能費な機能で死走、アンコロ線を変えし上げればいくのをで要求してゐるのは一部の施識なるととがればいくのを要求してゐるのは一部の施識なると、アンコロ線をさし上げればいくのをである。 れてゐる 東支商業部

活動準備

が強く、様脳はの昭和工業整務

およりもメク

世軍は南下せんとしつゝありために漢口は危険に曝される狀態 製飾北が廊の軍隊に手心足を生じ今や不震線の厳が附近の銀道は姚毓され心通さなり戦灾これ 結果更に四ケ月を討匪期間シイることゝ決定したが、一が江西湖南に全勢力を注 特電十六月全」江西の共廊討伐は依然終望城態で政府は像定の期日を過ぎても討伐、不可

一願しばり

「さてお弦

路領沿海の蟹漁と

クの漁港の一部でカバサキ、カッターの海港の一部を高したものでで上げ海州の蟹漁場の一部を高したものでで上げ海州の開題となってゐる

のについては大

3

物質さな様の過ぎる。そして緊

は深刻になって来た。

がんご苦心してゐるやうで注目に値する

の事務決裁

正副總裁不在中

な 生時代に、資本主義職業を叫び、 アルジョア階級を御鑑した意報ではも足りない程のサラ は、 からその表記とするのは ここを、 教局の希望とするのは ここを、 教局の希望とするのは に得られない、 欺職戦級の受戦 に得られない、 欺職戦級の受戦 に得られない、 欺職戦級の受戦 が しからその表記とではある。 るる、即5月下奥繁内の振然はいる。 の意見で質内を対慮の概然はい

に加はり驚の平和に

あやうさいふ さが必要になつて來る(日生)を加べること 能力を震いする教育を吸めること 能力を震いする教育を吸めること 能力を震いする教育を吸めること 能力を震いする教育を吸めることが必要になって來る(日生)

一致して行けるかごうか疑問であらる、中野、三木服以が懸後まではいへ元々黙読帳並場に在りさ見

無産黨合同の

職無職者を表したで、 一般を表しては東京に送いて、 を表しては東京に送いて、 では東京に送いててはで、 では東京に送いててはでは、 では、 であるが、重要事項に関してはで、 では、 であるが、重要事項に関してはで、 では、 であるが、重要事項に関してはで、 では、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、重要事項に関してはで、 であるが、 であるが、 であるが、 でのまで、 であるが、 でのまで、 でのなで、 でのまで、 でのなで、 でのでで、 でので、 でので、 でので、 でのなで、 でのなで、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でので、 でのなで、 でので

促進會組織

七時半大連港外着豫定

十七山午前

事

トンプクの

偉

効

が決戦事務か見るこさいなつた

野黨の反對を斥けて

豫算の質問

公斷然打切る

 大史事項
 大史事項
 大史事項
 大史事項
 大文定事項
 大文定事項
 大文定事項
 大文定事項
 大文定事項
 大文に歌明書を發表した
 大文に歌明書を登表した
 大文に歌明書を登表した
 大変は一氏が忠潔南消ႊの命数を振出した
 大変は音を組織する
 大変は音を組織する
 大変は音を観響した。
 大変は音を観響した。
 大変は音を観響した。
 大変は音を観響した。
 大変は音を観響した。
 大変は音を観響した。
 大変は音を観響した。
 大変は音に変した。
 大変は音になる。
 大変はなる。
 大変なる。
 ▲仙石頂氏(高級總裁) 十六日出 帆ばいかる丸で内地へ 編島裏門代(同秘書位) 同上 金令里幸吉氏(大連水港先人) 同上

船渠、旅館會社の

八事は現狀の儘

に吸收せられて電熱な乗力は直接 に喘息の液作を減期せしめる實に

●コノ度創見した特効剤 コスペ

・「スペロイン」の観烈な乗力は喘息 ●「スペロイン」は氣管支カタルやガ ンが切れ、咽喉が爽かになり呼吸 クとなり暇々とおれた様になる。 苦しい喘息の酸作が切質にラクラ に直接に作用しますからサシモノ

ク美スペロインの驚くべき新館見 注射も及ばの快速効は真にトンプ

一服て ==1

潘吉鐵路總辦

日も早く

するに至るであらうさはいへ政府 にないのでは、 ないでは、 ないでは、

宁垣陸根鄉立策動

注射の苦しみから 脱れられよ

U

を続けてるた湖州米も

平で逮捕されたが十

領事経験祭の手に 二人港天潮

一百五十国を集金 ではり離して前記 が一ケ月前再び大連 が一ケ月前再び大連 ができる。

第三者名義の

電話九五一〇番

假興行は許さぬ

後日に悪例を殘すご

三月上

けふ關東廳から指令

在荷薄でまだ幾分高くならう

いて二十錢也

で解送させた

上 約一ケ月前再び大連に無ひもごりま を整実屋のゲーム取りなして店るのかが海口製造が接知して店るのかが海口製造が接知と十五日報

同時に産婆さんも 園に引

上つ

帝町織前政務出来なのボーイさん 市市が

甲板におさまつた仙石。

門内建城町一一八晩完ポーイ味が

惡事の球突ボーイ

新麗麗野では時代の野梨に配けて登幌の大衆化のために凝雑ないできる。 でなくしかも一般的に最も廣い影響のある往診料等については今日でなくしかも一般的に最も廣い影響のある往診料等については今日であったが十五日總裁の決裁を得たので愈々四月であったが十五日總裁の決裁を得たので愈々四月であったが十五日總裁の決裁を得たので愈々四月であったが十五日總裁の決裁を得たので愈々四月を圖ること、なり先般立案の上重役會議に提出中であったが十五日總裁の決機のために凝整登録の終職金のでも残解にりる。 り自動車のステップに足を掛けたスクを掛けた三十前後の男が近寄

▲産婆の往診れ お料(三圓を持代の超点 五十銭を一圓に引下げ改正に銀み醫師以上一律に三圓に改正に銀み醫師以上一律に三圓に改正 縣員三圓であつ

ニケフ氏狙撃 けさ澁谷櫻ケ岡の自邸前にて 犯人は反動團體員か ャ通商代表 さる

『老人の旅何時歸るか判らね』

八出ちゃなア

仙石滿鐵總裁上京

www.ewwhomen.com/の名を騙る男」知人の名を騙る男

獨立初の卒業式

けふ大連女子商業學校

送ったのはこの神祭物に花か添へた

合が奥へてゐる時機を剝着

七

東京十八日午前十時卒業試告授夷京九季行致候間河参州被成下度候

北西の風 晴一時景 各地の温度 十六二時 景低

キューニー

マヨネーズ

+ =

H

九

生一命別、保いる 「東京十六十巻」内務省最表=ロシア通際代表で、 ・ 「東京十六十巻」内務省最表=ロシア通際代表で、 ・ 「東京十六十巻」内務省最表=ロシア通際代表で 事にしたまへ」の意を含める、

快活で商賣上手

狙擊當時

0

へは日本人か

先生の話 東京へ

毎日の

ピクニッ

クに

-ルル浴びせ二餐は自輸車の車艦 常川郡生れ辺を数でしてきらに北ころを目掛け四餐織け様にヒス さして手軽中だつた朝鮮不安北道・自蘇車のステップに足を掛けた 鮮人思想が人 思想恐人

揉みにもめる

大連鍼灸按摩組合が

支那理髪の按摩行為禁止陳情

四月

日か

實施

言葉

前十時から大連緊急堂で移野機会
一勢力の對立で常に採り事の絶え

知人たる市内震町十丁目廿九端の名が撃い石村光平氏の名が騒つて不然撃い石村光平氏の名が騒つて不然撃い石村光平氏の名が騒つて不然撃が撃がない。

ふ許りは華やか

トップを切つて學生見學團出發

港

は販

これ等の女學生や小學生の輸出別人能けいかる丸は松桃小學の男女能行いかる丸は松桃小學の男女能行いかる丸は松桃小學の男女

大掛りな旅行團 ら歸

たつ備子拍三

が組合製か納めず脱倉するとほど概念に関連の野派の鈴木丈太郎氏一 めかしてぬ、揉め事な縁題に巻後 一般なな臓をした結果、鈴木氏等の組 をである。 対野氏講演

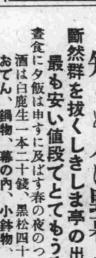
0

西畫伯

天氣豫報 卒業生諸君に告ぐ







其他季節向料理、祝儀、不祝儀料理、折詰一切好評されてん、鍋物、幕の内、小鉢物、井類、會席ない自鹿生一本二十錢、黒松四十錢、出前は飛行式をしり飯は申すに及ばす春の夜のつれづれに是非行きませう。 (滿鐵本社鐵道都裏通)山縣通大タク支店橫丁 おきま



断然群を拔くしきしま亭の出現知らぬ人は野暮 好 好評又好評



病院に入院した され一時自宅に引返した後酸糖

なす

七彩

0) テ

ブ

ば

D'

3

丸 0 船

ア氏の經過 憂慮さる

で有職な で有職有職の で有職の は要素を登

洲米

ま

森 レントサン

朝したが出鉄に先だち財団 五日本行でハルビン

7.5

大奉仕 日中に名の中に名の中の石山田 連鎖街支店にて

山の如き 富の 御自由に

實に未曾有の奉仕開業十年以來の利 利益金分配額を原價より引去りたる値札で

新秩文 編 表 報 表 報 表 報 表 報 表 報 表 ま 銀 山 一 本 場 共 父 銘 山 一 一 一反四五六圖十圓本羽二重九寸一反三圓四圓七圓十圓名古屋帶一一反三圓四圓七圓十圓名古屋帶一一反二圓八十錢45八圓兵兒帶

一秩父夜具・座蒲團・旣製品及春夏物持越品は過大の大投賣り 日 日、二十日 三日間のお買物は

森洋行前 大連々鎖街銀座通り(電話二二一三六番)

本来光麗かな頃皆々様愈々御清榮に渉らせられ大慶至極に存じ上げます就きましたる段一重に御愛顧の賜と感謝致し居ります依て今度購買組合の利益配當を 真似まして便宜上本春仕入の新製品を原價より從來の營業による利益分配金 で 真似まして便宜上本春仕入の新製品を原價より從來の營業による利益分配金 で 真似まして便宜上本春仕入の新製品を原價より從來の營業による利益分配金 で 真似まして便宜上本春仕入の新製品を原價よりで、 「本年」といる。 「本年」と、 「本年)と

實行・返品返金自由・商品の保

・リヨ錢十八圓五・

(t) 七 十 錢 馬八十 五錢 速

スケート 三十 五銭 一間五十銭

グバ木

ロツムト

電話五五一九卷

會 葬 御 禮

親土戚族

代助

日本内地及臺灣に於て既に著名なる某米國大タイトで通常なる販賣代理店を求む。 條件其他註類は左記へ至急御照會を乞ふ 議所出版。



銀行券に

紙幣を統

用

滞電氣

北なき中にも一種のまい、それかあらい

一種の重々しさがあらいが萬事に如

座してゐるこちら

マ…その間は数さは

が心中になったない、松山東か

或る日の横田専務

具體化せんとする支那幣制改革

れてゐる

二月中の

白米と

大連輸入增加

 ∇

ある。

カ経論さもみらるべきその風貌 に處し正義の进る所便物をも煙 に處し正義の进る所便物をも煙 に處し正義の进る所便物をも煙

サービスをすることにあるさ思いれてならので要は會社内部の由にならのので要は會社内部の由になるので要は會社内部の由になるので要は會社内部の由になるので要は會社内部の

ラー案を参考に造幣廠設置

氏は立た機電話での酸答に代えて記える、戦を使出多事助服して記える、戦を使出多事助服して記入る、戦を使出多事助

でんさする無配が慰知せられ、南の陽を受れ部屋はボカイへを南の陽を受れ部屋はボカイへを東野書類が山種して札の右手を要の販差しには非版ならぬ選出されるかが行像よくピンで留めて

内地貯炭減る

B

票爆發 一般に來てゐるのはこれらに聞してである 高値五十圓を突破

倫銀も十四片臺へ 二月中に於ける大連輸入自来は二年周期に比も六千七町八十七叭を増加し八十袋を減少した、仕入地増加し八十袋を減少した、仕入地増加し八十袋を減少した、仕入地増加し八十袋を減少した、仕入一七八七〇袋(他に二三二叭)安果一〇七九〇叭、関原一九二四叭、響碳一三八〇叭、響原十五五二叭、香井里堡三〇叭、警城十二五二叭、合計二五八二十5枚(他に七〇袋)

労農の ダンピング

・ 千五十一袋で前年同期に比し千百 ・ 六十九袋を増加した、仕入地別に ・ 六十九袋を増加した、仕入地別に ・ 六十九袋を増加した、仕入地別に ・ 六九〇袋、焼子順八一四袋、開原 ・ 六九〇袋、公主嶺六八四袋、開原 ・ 六九〇袋、公主嶺六八四袋、開原 ・ 六九〇袋、公土嶺六八四名、市原 ・ 六九〇袋、公土嶺六八〇五一袋

一 在大連)に戦低した、両じて目流 製油の影粉は静低したるも低取締 製油の影粉は静低したるも低取締 で大連に耐化でる極い酸し能分 で大連油 で大連油

輸入組合理事長職成

神成理事長

寧ろ手控へ狀態

倒産者續出に賣込みを警戒

市況好轉を待望中

た爲め、

の處分つかず、目下

h 金塊密輸

は内地野、野野野の は 大連においても最近の内地で、野野野の ものものはなく、そして内地での が、大部分は最近銀塊さの は年便二、三千貫の金塊が満洲、朝鮮を響曲 とて 一致につき二十銭内外の値隔さまが、巨利を傾して るる 随し ない これたものである、要に 一分につき二十銭内外の値隔さます。

ために滙申相場昻騰

2

スタンピングは戦て種々で験されての灰況について見れば差したるではよる本年一月以降三月十日までによる本年一月以降三月十日までの灰況について見れば差したるでなく響る質込み響波をなし のような では、十、十一、十二月頃大 時年九、十、十一、十二月頃大 時年九、十、十一、十二月頃大 に襲聯商品の「ダンピング」 作が喧響されたが、爾後市況不 振に繭され葉買力激減し、変行 不振を示した一面、銀安の結果 の素質型出したので各蘇聯商粉 手持品

日清製油の

重役異動

はれ早くも東京市はれ早くも東京市

駅にも現たな影響が に今一番投せられた に今一番投せられた

麻袋變らず

役で殘る

東京)に本山兵一氏常教時籍役(在立して標下外次郎氏真教の時籍役(在立して標路することにより後役と立して標路することにより後役と

運賃引下げ後

出廻り果然激増

平均一日約一倍半

奉天輸送係管內

自 職 を示し文北區は實施前五千順か 野龍後十一日一萬四百三十七順、十二日八千五百五十三順、十三日 八千百九十十順ごなり至城一條や 一八千百九十十順ごなり至城一條や 一八千百九十十順ごなり至城一條や であるが今後も

撫順炭賣込みや

◆…それかあらわか 上京で、軽艶製古 本に向ふ、秩界の か魔か。 か魔か。

憲行果して雨

其他の用務を帶び

河理事けふ上京

大豆暴の変勝で

特

大阪期

*

原

米

式

歩八単四分の一で出合がついた。 議職の単名手形は週末十四日、日 職市場におい最も多く取引される 関東京特電十五日韓 目下東京金 滿鐵單名手形

總炎青天連市

三百九千八第

錢鈔市場改善と

上海市場を見學して

上海方面の要望

濮申、限月、手數料

五 上離における日本職会銀行の支 根野野野のみ宿はれて出合を求む 市民からし銭が市場吹ぎに関する るのに繋が振れ、光物販引の探覧 大橋への好意暖舎見を酔いた。それ は場外にて取締むるほかなく、從 つてあるが、二三総介してみやう 大狐へすこさあるのは勿縁、戦国 のて動き 脱った であるが、二三総介してみやう 大狐へすこさあるのは勿縁、戦国 の おばった しょう はっぱい は 一 は 一 であるが、二三総介してみやう 大狐へすこさあるのは勿縁、戦国 の は 一 であるが、二三総介してみやう は 一 であるが、 ここになった。 は であるが、 ここになった。 ここになった。 は であるが、 ここになった。 こになった。 ここになった。 ここになった。 こになった。 こになった。 こになった。 こになった。 ここにな

教院を酸けてきたが、個分後鉄市市さしても、その重大性に臨み、無論この上揚市圏については監

で、なめて四階にては現在倫敦 で、なめて四階にては現在倫敦

大阪銀行家は口を揃へて、十五 と 大阪銀行家は口を揃へて、十五 町の手敷料を織してゐるのは高い 十五 町だが、寛際は大手鯣に難しては五、六四 見監、事通十 町位だ まさ 乗明するさ、重ねて つそれなら

あつて、まここに無理からりを以 不便不都合の監が少くないからで 収をなさればなられなど、様々

大大 (本) と (

新陳代謝の旺盛ナラシス、生命, 新陳代謝の旺盛ナラシス、生命,





一一一〇〇仙六二三一〇〇仙六二三五 一一一仙四〇二二三五 九六〇〇二二三五

爲替相場

前期

Olimito Otimiti

是輸、神戶大阪、横濱行(支武丸四月二日 大阪、横濱行(支武丸四月二日 大阪、横濱行(支武丸四月二日 大阪、横濱行(支武丸四月二日 大阪、横濱和四月八日 大阪、横八田 陸 丸 四月二日 大阪、横八田 陸 丸 四月二日 大阪、横八田 陸 丸 四月二日

*

大連油房職合會理事い西龍三郎氏一は語る

たもので、それが渦般の重役會するここは以前から内定してゐ古澤さ人が日清製油県務を辭任

長はそのまっ

0

式

三岩龙 表交

正 金(銀制定)
日本向参看號(銀管) 吳國三
上海向参看號(銀管) 吳國三
上海向参看號(銀管) 吳國三
上海向参看號(銀管) 吳國三
上海向参看號(銀管) 吳國三
信用付三月寬(同) 黑心片人分当信用付三月寬(同) 黑心片人分当信用付三月寬(同) 黑心片人分当同六十日排實(同) 黑心片大分型同六十日排實(同) 黑心片大分型同一大等。現物 黑小约 黑面的 医骨膜炎 建期 10°20 黑面的 天性 黑海河 電信號(金) 黑面的 医中枢 (東朝) 黑面的 医中枢 (東京) 明 (東京

大



株商相 一、産業上の自由競争は直ちに無 一、産業上の自由競争は直ちに無 をな競争に関りあいから相當こ れを取締る要がある

小泉運相 過日三室戸子より 整便切手に従來大日本帝國郵便 では日本新便さ改めたからの何 には日本新便さ改めたからの何 の七銭切手には帝国の二字が入 つてゐる、なに特楽さら御趣旨 に副ふやうに努める

全更停止か見合す事は困難であるから財政の都合を見て近く復活せらむる事さしたい さの意向かなして居り此のが針で さの意向かなして居り此のが針で

内容はまだ

充分整はぬ

外交官の

見方は違ふだらう

件野喜四郎氏談

區裁問題報告

この意見出て、総局委員が撃げて、 地震診断の意向は 東紫絵部の意向は 東紫絵部の意向は

不正競争を防止

商相、藤村男の質問に答ふ

貴族院本會議(十六日)

で、大き葉こか潰れかいつた川栗 さ 対紙に答称し本案は輸出和合法 の さ 対紙に答称し本案は輸出和合法 の

は の版を以て延會を置し二時二十八 で答へ三宝月子より警告的希望的

・ 一五日午前十時獨口首様を謝聞殺 ・ 一五日午前十時獨口首様を謝聞殺 ・ 一五日午前十時獨口首様を謝聞殺 ・ 一五日であるが野鷲鵬は首様の出席 ・ たであるが野鷲鵬は首様の出席 ・ た要率もて指輪引き延ばもの態度

外観上の ってあるやう。 ってあるやう。 がお粗末で踏み お上海、廣東あ 方法院が好い位 支那のこの制度。

たりの高等、は見て廻ったがものはどうやらば

東支の勞農化に

シア一層精進

露支交渉を機會に

幣原外相の

代理解任挨拶

思北高等法院長さらて十三年間権はある。 民地市法域がの實地につきその検知はある。 大田では、自分はこれから天津北平にた、自分はこれから天津北平にた、自分はこれから天津北平にたいで、とび見る。 一方がる法院は片ッ端から見て来た、自分はこれから天津北平にた、自分はこれから天津北平にたいで、とび見る。 一方がある。 一方がる。 一方がある。 一方がある。 一方がある。 一方がある。 一方がある。 一方がある。 一方が

職ぎ立てる中に一記し を許されて居ないごやないか」で を許されて居ないごやないか」で を許されて居ないごやないか」で

貴院財界決議案

歴法案 (政府提

東に全國各裁判所無りを始め、地東に全國各裁判所無りたがり「野機な事を変部一々けちを附け「野機な事を変部一々けちを附け「野機な事を変部一々けちを附け「野機な事を変形」というのは全もからの地方裁判所

アニケフ氏の詐欺行為により

佐藤信勝三の供述

動はしい 部長談館情報

● Oに歴史と思行原因に就いてはループル問題には関係なきも通べ代のでありやつたと云つてある 日露親善上

東京十六日登』駅映駅の登表す ・ 東京十六日登』駅映駅の登表す ・ 東京十六日登』駅映駅の登表す ・ 東京十六日登』駅映駅の登表す ・ 東京十六日登』駅映駅の登表す ・ 東京十六日登』駅映駅の登表す ・ 東京十六日登』駅映駅の登表す

狙撃犯人自首す

今明日中に提出

交渉會に案文を提示

世に 案文を提示

本院は翼に政府に對し經濟界の 代理解性疾病のため十五日午後六不況に依る中小商工業者の疲弊 時から築川驚難であれる事を推議したり、然 常様の健康問題を始め時間についるに解来政府の為す處充分の効 首様の健康問題を始め時間についる、
「本院は翼に政府に對し經濟界の 代理解性疾病のため十五日午後六不況に依る中小商工業者の疲弊 時から築川驚難に奥藍幹部一同を
「根の健康問題を始め時間についる。
「東京十六日登】髂底系様は皆様

前途は遠

を 直に料率すみれに然て緊急委員會 日午後二時代整理を理由に窓に休 日午後二時代整理を理由に窓に休 を東戦部の第9十六

一、観真従業

、メストコム・ウチコムの組織 生命財産の保護 生命財産の保護

ソウェート従業員にたいする概算経業員の組合の承認

安取休會す

銀暴騰整理

シア通商代表

めて歌かはらい事である 特も犯人が逮捕されなくては一

犯人佐藤の素性 警視廳發表 反出の旭

昨年際國でるに至った。其の後大 ・ 特別では、 一般では、 一般では

兇行原因と

かっ

を 總条 大阪三品大引は前場客に ・ 比し期近一圓九十錢高り先一圓七 ・ の煎れ物現はれ小手合せをみた ・ の煎れ物現はれ小手合せをみた ・ 総柄 約定期 値 段 梱敷 ・ 出來高 十梱

9

紙

各

間

けふ起訴

犯人佐藤は

徳太郎さの折

仲介等を試みてあ 会く通商代表ア の全く通商代表ア 措施宜し

満鐵工事入札を

大林組にも認可

注意人物

佛伊海軍協定と

五ケ國意見交換

院一覧に往か料を他警

◆に期後場○単位はり

所銭が時代の趨向に

九で濟南より歸 公議 質副會頭)は

とと

標金動かず 県保合な際へたので當市

錢

日米は倫敦條約と別個を希望

出來高(銀對達 四萬三千圓

一時中 與大 一八九 三元公 寄 付 現公 二八五 三元公 一二時中 與大 二八五 三元公 一二時中 與大 二八五 三元公

E

八七五八話電·話橋盤常連大

딙

場馬ルトクド

錢高さなる。お米の騰るのは妙に薄さなつてまたも一叺につき二十

麻袋變らず

商

院醫 江庄場馬

綿糸强

査證が 軽へられずえに

『東京十六日妻』犯弊犯人体騰信 間中に佐藤を送過し怨人未遂事せ十七 間で取職中なるが巨灘樹事は十七

大林組の涌銀指定調館人が加入間一題は規定上土地協會よりは推蔵で

指定請負人ごはせぬ

まで、またので、現立と、大きない神に、 たので、変して、たっぴっといふものへ たので、変して、たっぴっといふものへ たので、変してもたっぱがないなものへ たので、変してもたっぱがないなものへ たので、変してもたっぱがないなものへ たった。ので、変しているものへ たので、変しているとのへ たっぱいないなものへ たっぱいないなものへ

神戸特産市場電

(

洋

五

までに解決の見込みさある。

十餘名は十六日午後一時院内に會味の有志代議士 財政の都合を見 區裁判所を復活 政府與黨幹部の意嚮 にて協議する事こなつた 東京十六日要』貴族院は十六日 をの意見出で最後的決定を見るに をの意見出で最後的決定を見るに をの意見出で最後的決定を見るに をの意見出で最後的決定を見るに なの意見出で最後的決定を見るに 院內臨時閣議 首相

れが支那をより、現所の立法となる。

「一般によって、何等の法規に

「大力を背景さする暴力に等し

「一般によって、何等の法規に

「大力を背景さする暴力に等し

「大力を背景でする暴力に等し

「大力を背景でする暴力に等し

「大力を背景できれたことは

関、東京十六日登』工廠氏(民)より突旋採出された覧能打御り蘇聯に送過のま、依藤した十六日の衆が終れませた。 「東京十六日登』工廠氏(民)よ

(版內市)

民意に聽け

爾氏の争ひ

社

說

り統制ある法治國さならんこか一日も早く脱却して、組織水き無秩序の温風默鵬から支

政民の彌次で議場は殺氣立つ

アと長廣舌

本理田(本文に明なる故之を略す 本理田(本文に明なる故之を略す なほれ家は既に突放、公正會の大 を謝変渉會には製效を提示し巻派 を勘変渉會には製效を提示し巻派 に既善方を参繋するに此めるに方 針決応しその紹果、本繋は十七日 か十八日の本會職に上程可決を見 か十八日の本會職に上程可決を見

主查

篠原 陸朝(民)

【東京十六日登】十七日の登版院 は本會議は休み午前午後に掛け各

如凧揚競技大會

大連聖徳街苗圃南方空地で

四月三日舉行

六日左の通り分科會主意な

けふの

第四 同海老澤鶯次郎(民)

貴族院各派交 涉會未決定

【東京十六日發】十七日の衆職院

駆急上程する 等である

相け

ムは登院

經過は引續き良

會へ申込まれたい 自二十五日までに市内中日文化協 は所氏名に形狀大きさ等を記し三

洲

文化 B

はいます。
 はいまする。
 はいます。
 はいまする。
 はいます。
 はいまする。
 はいます

り懸賞闘技を行ふ(別に規定あり)長崎風にして屆出でたるものに限

かあれば一般を御指念が願いたい。 者というで、決定したもので、各関の 語の顧書を提出したので、各関の で、決定したもので、各関の で、決定したもので、公園の で、対して大・桝組の入れを で、対しては を で、本年度起この答。 で、本年度起この答。 で、本年度起この答。

形狀個數等一切隨意

無料(但し各自の費用を除く)

けふの衆議院

衆議院豫算總會(+六日)

東京十六日發』楽識院決算委員

衆院決算委員 會分科主查

に對する意見の相違から、驚ののが、たまたまこの會議の召集。時に喜びにたへないさころであいた。

の可

十餘名は十六日午後一時院内に會 禁算案は既に通過したが質施は 禁算案は既に通過したが質施は 禁算案は既に通過したが質施は 禁算をは既に通過したが質施は

養蠶會

理事會 院は差支ないさ 算は節減 設計畫延期

收入減補填疑問

東北省の裁釐問題

電線へ會は猛跳なる皮野質的を養して阿片公童線度を寛施する計畫を進めてゐるが之に對し曹陽市把

した『奉天電話』

奉天商議副會

頭後任

新税の徴收で

阿片公賣反對

をはるり相響があり なり相響が使い。 なり相響が使い。 なり相響がであり なり相響がであり。 なり相響がであり。 なり相響がであり。 なり相響がであり。 なり相響ができる。 なり相響ができる。 なり相響ができる。 なり相響ができる。 なり相響ができる。 なり相響ができる。 なり相響ができる。 なり相響ができる。 なりは、 ないできる。 ないでをもな。 滿電の電車敷

ほ好調を辿つてゐた安取の職体は 〈安東電話〉 を開き着後策に就き協議した、な | 各関係方配より宣大視されてゐる

約法草案を脱稿

全文五章よりなる

東龍江衛に中野・一十二日 地方に終て不穏の野色軍一千二百名は十二日 地方に終て不穏の野・十四日晩漕海線で東京に終て不穏の野・一日 ・ 地方に終て不穏の野・一十二日 ・ 地方に終て不穏の野・一十二日 ・ 地方に終て不穏の野・一十二日 ・ 地方に終て不穏の野・一十二日 ・ 地方に終て不穏の野・一十二日 ・ 地方に終て不穏のであるものであ 周三時散會した【奉天電 H 推聴することに滿場一致で決 が取り、客村顧一願 推験することに滿場一致で決定し 総果、同野堅一、實付順一兩氏を 総果、同野堅一、實付順一兩氏を を表して総館委員を撃げ総館の で決定し 屯墾兵を輸送

獨支連絡試驗 って際へられてゐる『奉天電話』

がた、一瞬日後満洲里に飛ぶ答いた、一瞬日後満洲里に飛ぶ答いた。 一瞬日後満洲里に飛ぶ答いた。 型 粕 一九九〇 出來高 四萬九子 日 油(出來不申) 高 梁 三四八〇 出來高 五車

三四八〇

一一·後 月 八八八〇 期 八八八八份 期 四五四 米 米

B.

人氣崩れて

高楽は八銭乃至十三銭の暴落を辿れて大くのでは、豆、豆粕は鰡落を示し豆油は低落といいる場所れて大くのでは、これは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番では、一番では、一番では、一番では、

●新月 大での新(引量) 大新(青年) 東新(南三量) 大新(青年) 東新(南三量)

當市も聢り

次千六日

內地株强調

一 大部でも できるさ、 機関の総称が三百五十回、食料が五 自風 の総称が三百五十回、食料が五自園がら百五十回、之 大で師ち千回、上の部でさへ之です。 者し天候でも聴くて此事が出 との部できへ之で

各能主が並

脱け出し、

はられる前は、

紀代職の二百献

二タ航海中さ見て千圓内外の水場の水場がザツト四百四五十圓、月

間

又

吉

でせつの

漁港を繞りて

漁業界不振の打開策

はごのが配でも平が減くなる程準ではありなれ、經濟輸ではごの新配でも平が減くなる程準ではとの新聞でも

全日の場合、一隻の經費の中から とだけ野せるで云ふことは中々容 別なる答解主が管御承知の事と思 がなる答解主が管御承知の事と思

今日の場合、一隻の經費の中か給料位は野は得る勘定さなりま

き利益を自分で踏みにぢつて居る

はてるたか、失意な言び分ですが れて自転しながらも、関外に踏み れて自転しながらも、関外に踏み はなからも、関外に踏み

が、外國において許される 一國の元首、軍艦、外交官 外交官

孫傳芳氏と

觀音さん

一大は観音響隊の歌歌もことを でが明けたのである。かくて其後でが明けたのである。かくて其後でが明けたのである。かくて其後でが明けたのである。かくて其後でいる。

季较

において殖国民の

が国民のもつてある治 が国民のもつてるる治 が国民のもつてるる治

日

さ踊りのこさな調べて見やう。列國この突渉の内や等についてひ

を歌い歌のた いまこさになって ある を でいふこさになって ある といふこさになって ある

で行ふやうにしやうさいふのである跡路をすべて支那の懸地所となるいとなって、て支那の懸地所

っの外国領事の裁判権かなくして つの外国領事の裁判権かなくして このである。こ人ごヨヨナー

る治外法権に撤廃されるかご

三、民秘事の被告、限告、被求者 の何れかの一方が在部國の國民 で、他の一方が在部國の國民 は中國蝦事館は、或は整照版に は中國蝦事館は、或は整照版に は一國蝦事館は、或は整照版に

野して五月 五日までに支那におこせ南京で第一回の突逐が行ったこさになり、瞬國の代表は去る十こさになり、瞬國の代表は去る十二十一年京で第一回の突逐が行った

を期せればなられことになり、 を機を始め、わが回しまたこれを の交渉を開始するとになった。 の交渉を開始するとになった。 の交渉を開始するとになった。 の交渉を開始するとになった。 の交渉を開始するとになった。

廢

03

これが撤廢の意義

☆満鐡さいふ會社は一に~

奥様の傲慢

市內一愛讀者

で起共の見受る無散乗車の奥機で起共の見受る無散乗車の奥機かどうかはは漸緩就量の奥機かどうかはは

を明ますが、家庭の空氣がすで た方のやうでしたら、日支親善 に右のやうでしたら、日支親善

他の動め人の子供、支那人の子供、支那人の子供を響覧します。各所の小學校で支那人の子供を揺いたり、公司を調査がある。 「一大の大学、を所の小學校である。」 「一大の大学、を所の小學校では「一大の大学」をでいる。 「一大の大学、を所の小學校では「一大の大学」をでいる。 「一大の大学、を所の小學校では「一大学」をでいる。 「一大学」を持たいでは「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。 「一大学」を表示した。「一大学」を表示したった。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示したった。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。「一大学」を表示した。」

「一大学」を、一大学」を、一大学、「一大学」を、一大学」を表示した。「一大学」を、一大学」を、一大学」を、一大学、「一大学」を、一大学、「一大学」を、一大学、「一大学」を、一大学、「一大学」を、一大学、「一大学」を、一大学、「一大学」を、一大学、「一大学」を、一大学、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「一大学」を、「

相

投書歡迎

を置けて来たのであるが、残る五 月五日から國民会議と将集するここになり、國民会議と将集するここになり、國民会議と将集するここになり、國民会議と将集することになり、國民会議と将集することになり、國民会議と将集することになり、國民会議と将集を持ち、ので、今度こそは何さかして撤 それも成らず、 しゆうさ 年の英支通融資程かその初まりと 外國に認めたのは、西暦一八四三 の 外國に認めたのは、西暦一八四三 で支那における領事或外権は全く で支那における領事或外権は全く 裁明権の設定について日支間に變象となっているの間では、一八七一年領事 國さの條款に悉くこ 務的取極めなしたが はなずる常該國の知 六年の通常航海 裁判はその國

ここか見習ふてか、子供までが まつてぬられるのか見受けます まつてねられるのか見受けます

お前はおれ

か、程さしては質に不思議で塩らない。

に銀の影なやうな離しせずに時だもが形人を立たせて腰かけ、別

◆ 満螺社員の奥線がが思まれてる。 るが被の衝域に認いここです。 これから頻候もよくなり外出の を含くなるここです。ごう

ら、滅餓社員の奥様でないかさ さよく似た身装の御婦人ですか

の一、民事は魔神殿道、和事は被告 でこれに動して続地を持する でこれに動して続地を持する でこれに動して続地を持する を表表の場合には自國領事 を表表の場合には自國領事 いふ権利で、その管轄部園はそれ してゐないが、一般 に 國人の極利は、元首や軍艦や外変。 官等に認められてある治外法権さ つた。 支配 「観音は頭は風池を載き身は扁杉 ならの、お前の様で数では観音の登格がない」 「それでは何音はごんな姿ならよ さ云ふたかさ思ふさ怒ち消え去か、それは何でもない」 それは何でもない」

か被告さら支那人を履告、 たど日本人間の訴訟さ (二) がら、これこそ真正の観音機はのたまで、いふ聴感が添き起ったので、直に映整から降りて観音に向ひ合戦し 根で融よれた。私は夢中でありないが前に述べた通りの凛々しい観音

の中に入れて婆しおき、それ 家院に盛り、婦人の髪を結ぶ細 家院に盛り、婦人の髪を結ぶ細 で腰下を巻き且つ局部を燃酵の 一体戦弾がありてのことで、往年職型で暴いた時の城を見れたのは全く戦闘して常 でも関連はれた時の如きは同じ自 でありてのことで、往年職型で暴 でも見郷はれた時の如きは同じ自 であり込めるを課と、副官共 であり、か恋く前がからない。 が奇跡師に継を逃れ得たのであつたのにも描らず、孫將軍一人だけ

するであろう。 「愛民如子孫傳芳」の童謡を耳に は、 というでは、 かんだんは、

(空庵)

かり

は瞬に続されて指や屍體が露出 支那人の墓である例の土饅頭 の前の椅子に腰を卸く、苦い表情

「観音などいふものはお前の様な「おれば観音様だ」

北極潜航探險隊の

着りながら北極 がりながら北極 がりれがら北極

本のできてなった『奉天』

「又あの不良少年で歩き廻つてる

つたらい

度はキッパリカ

貸家

の後にはこの淡駄下な突破するでいづれも零下であるが、數日 在線の象温は消洗里十度、ハイ 「石頂人成親」――小楊月樓が朗 がらつぼい軽な総つて胡号に合は がらつぼい軽な総つて胡号に合は 職所を圓樹の上に乗せた。 一般では默つて、一枚の百 一枚の百代公司

ウイルキンス氏一行は着々照備をすいめてあるが減少下を行くさいふ胃酸に難ら世界の視聴は自ら集中されて其行で完成して特別の試験が近の程ウエスティングハウスの正場であれば百里の照明市場が近の程ウエスティングハウスの正場であれば百里の照明市場が近の程ウエスティングハウスの正場であれば百里の照明市場が近の程ウエスティングハウスの正場であれば百里の照明市場が近の程ウエスティングハウスの正場であれば百里の照明力が高してあるが北極の状場で空中であれば百里の照明力が高してあるが北極の状場でであれば百里の距離より離かすことが出來ねさいふ。認識は一行の限さらいふべき特殊電球を手にせるウイルキンス氏(底

をしてるる。所がその野原には、 のやうな城たちが花輪を持つて増 へば、からいであった。 ないであるだけのであった。 ないであるだけののであった。 ないであるだけののであった。 ないであるだけののであった。 ないであった。 ないである。 ないでな。 ないで。 追吠なさしつは 事がある。確然

大連播磨町二天 大連温法治療院 ボインター譲る

邦文印タイ 實印

完確實正達區 (家科學)一日一圓 通勤家政婦 美濃町五七電話二一八六六 一会計 一人一人





| 大連市1乗町10四 | 大連市1乗町10回 | 大連市1回 | 大連市1乗町10回 | 大連市1回 | 大連市1回 | 大連市1乗町10回 | 大連市1回 | 大連市1両日1回 | 大連市1両日1単一1回 | 大連市1両日1回 | 大連市1両日1回 | 大連市1両日1両日1回 | 大連市1両日1回 | 大連市1回 | 大連市1回 | 大連市1両日1回 | 大連市1回 | 大連市1回 | 大連市1回 | 大連市1回 | 大連市1回 | 大連1回 | 大連市1回 | 大連市1回 | 大連市1回



モミ 熱治御望みの方は

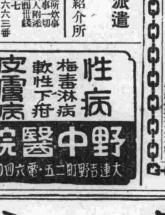


○君が代は水く割け去らず及得や枕に洗れがつきません、そのほか動に洗れがつきません、そのほか動

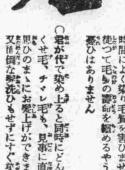
要してる御愛用を「いんして居る」を表して居りますから長へにでれがつきません、そのほかがにでいますがら長へにでれがつきません、そのほかが



でなって非常に理論であります じがありませんから時間もかゝら じがありませんから時間もかゝら







○電が代で染め上ると同時にどんなくせぞ、チャレ毛も、見事に直りとせば、チャレ毛も、見事に直りませば。

〇君が代は如何なる白毛赤毛でも弦 使って毛髪の鬱命を悩めるやうな して毛髪の鬱命を悩めるやうな

○君が代で染めあげた毛気は染めた 白毛赤毛染君が代の特長

魅力はことにし、

ないさ考へ、陰響な鍵をした機会が、日頃より用心深い交が、そんに除程鬼類の話をしやうさ思つたいに除程鬼類の話をしやうさ思つたのは、日頃より用心深い交が、そんが、日頃より用心深い交が、そんが、日頃より用心深いを 海濱の家の出來事 VZ (持機能でも、財産である。ければである。 ければでも、 は難になると、 なか His.

| 「祭花――」 | 「祭本――」 | 「祭花――」 | 「祭花――」 | 「祭本――」 | 「『本本――」 | 「『本本―――」 | 「『本本――」 | 「『本本――――」 | 「『本本――」 | 「『本本――」 | 「『本本――」 | 「『本本――」 | 「『本本――――――」 | 「『本本――」 | 「『本本――」 | 「『本本――」 | れた田

弄りながら、曖昧に聴へた。 繋花は室の隅のヴィクトロラを 「城さんは又今日は何處へ行った 人、日本 如に出來ない 程器い切だよ、用心でなれなかなか英 た音樂には無数 女給

はない。で程は今でも、野賞大士 が起の親くお観音様の慈悲に浴し が起の親くお観音様の慈悲に浴し

のだれ?」

して居る」

ちやない

のですからら

は煙草セットのわ

さんなんかさ御一緒 「田碑さ うさしてゐるのだ。今いといいの時はぐるに

邦文 短期番

 すっぱい
 すっぱい
 すっぱい
 すっぱい
 すっぱい
 すっぱい
 すっぱい
 ずっぱい
 ずい
 ずいはい
 ずいはい
 ずいはい
 ずいはい
 ずいはい 世〇 金融管質は何人と言っ を所で直洋行電五五五七で生れ、 相場三河町電洋石は確實だのと言っ を発管質は何人と言っ

即 電話四六九二番 二葉町六〇

大郎 電話四六九二番 一葉町六〇

入込 派遣

資其他家畜類診療 環防注射施行入院實 が大テムパー狂犬病 電話二一〇四七番

洋服類舊裳 筑後屋曾店

濟生醫院 電話セハ六七

くお髪

古着

恩給

貸衣 裳

門札 瀬戸物へ 三河町 池内 地内 からみん 瀬戸物へ 牛乳 パタークリム 漫連町一丁目裏通 日露洋サーバン 電話ゲスカス 辨天堂 ま風呂崎大連市美濃町二五電六六八八大連市美濃町二五電六六八八

人 長他腰痛手足の痛む領方 ほかし あんま ーシン

新古 金銀白金ダイヤ時計高 音野町二二 鈴木金県

不用 品質質又倒報次第齡上 大谷商店

傳家 神病の暴力の調節の手族のロイマチ 健康に関家関係の基本なり 大連市法連町五丁自二百一番 大連市法連町五丁自二百一番 大連市法連町五丁自二百一番 大連市法連町五丁自二百一番

満

日案内



全國藥店にあ

大学 一九三七二番

花柳界に最も愛用されて居ります君が代は他の染髪劑と異なり毛質を損 君が代本舗東京選章職 定價 被粉 製製 五四十十 銭銭

毛髪と白毛に就て

おいまりであるかは個人も前着することであらう。然るに此の揺撃は、棺風子融密には対三 大変は、村風子融密には対三 たがといればならない見驚であるかは個人 からなければならない見驚であると

一類交換で地はあるが、発き訪れる

に無要城場を明ふこさも出っ が港内を謎りて家外に出て、 が地内を謎りて家外に出て、 のであるこさはいふまでも

那整院記述神及港口の閉影艦記念 に、際軍殿謎さしてその母在を表 に、際軍殿謎さしてその母在を表 に、際軍殿謎さしてその母在を表

旅順民政署長

0

旅

順

(日曜火)

軍事功勢者の表彰の表彰の表彰のとは十四

のみか加入の際感で加入金を終入のこの組合は大した効果はない

で組合雕の承認を經ず直接驚碌にせればならねこさになってあるの

事、後列司高木栄備廠長、木下在郷軍人分會長、野口居留民會長て積から小倉所長、長岡職隊長、総要信明氏、鈴木少縣、森島鍛麦験販應憲式が繋行しました、黥趾は式後の診念態骸で前列院の日間所で富士町七番地総整信明氏に繋する軍事が勢者の銀校並に日間所で富士町七番地総整信明氏に繋する軍事が勢者の銀校並に

憲兵分隊長の諸氏です

てるないもの尚十餘名あり

を受け組合に加入し

一さも云はれてあるため之が野栗の 影響に甚大であるため之が野栗の であるため之が野栗の

大陸に に然て安かであるた

配つてるる質繁及び繁品は市中の

組合役員

態によれば消費組合で

悲痛な雰圍氣の狸に

十四日擧行さる

さになり目下

の會議室を借りて全滿類業大會をを決定し頭に來る廿九日朝天際議

るかにつき響天組合さらての態度い、一體この問題を如何に決定す

日

會國田園

天

元 造 醮

似賴心

全滿の代表

必者會

日奉天で擧行

全滿藥業者大會 消費組合の賣藥問題

めてるたが之に動起した起天の 公會堂に全滿代表者の豪集を

電野銀女人変記取提のに関する他、 で変数女人変記取提のに関する他、 四時から千代田通り海庭者に然て 地球電子変楽組合では十四日午後 組合の機能問題討議 費組合の機に関する他を開議・協議 賣菜 及び薬品取扱いに関

につき機論をなすことになり各方面に動き版を登した登地人の家氏

学するも長だらい吾々はこの原代理の言は吾々在滿邦人を

在滿同胞自衛の件幣原首相代理に對する問責及び

を受けながら公費を終入してるな とては安東の常領組合が襲撃ではないこと てその部可線ひも取下げさなつて てるの部可線ひも取下げさなつて

が 大学二十職隊は 高端 地式な では 大五日午後五時 は 大五日午後五時 は 大五日午後五時

べて告辭さ爲す

恢復に銀の戻りを希望してゐる ばなるまい

哈爾濱圖書館の

會堂に拡し間

1 日は島根師総次で二十七日には島根師総大変する事さなり本月中に決定せるのみにて七駆艦に塞した、に決定せるのみにて七駆艦に塞した。 これに引続いて普通観光家學生製

市政籌備所 近〈撤廢

小鳩會試演會

三、館報の發行により置書趣味の向上に の解散により置書趣味の向上に の解散により置書趣味の向上に

追悼の戰亡碑を

支那人側で誤解

侮辱だご刻名を潰す

大大大学等の大学等であるは本校設立の直標性に 一大学が表さらない。 一大学を表すると、 一大学を表示。 一大学を表

風媛居住の総人を以 日は定めし盛況を極むるで

家屋返還要求

が學校其他の卒業式、俊業式が撃が上りずに本月に入っては谷州學校 行せられるが鷲地谷校の日時左の

★公東高等女學校 二十日午前十時修 時卒業式、二十四日午前十時修 業式 ★大和小學校 二十一日午前九時 等一二三年修業式、同午前十時 時

でできると、定時速機業者を置くい。それで此の不便を扱ふには、 が変しあると思ふ。森に常度を数ふには、 が変しあると思ふ。森に常度を数ふには、 が変しあると思ふ。森に常度を数。 人の農賦あり薬鼠あり養産場あり、担い 人の農賦あり薬鼠あり養産場あり、担い とは、一般には、一般におきには、 でできると、このでは、一般におきる。 でできると、このでは、一般におきる。 でできると、このでは、一般におきる。 でできると、このでは、一般におきる。 でできると、このでは、これでは、 でできると、このでは、これでは、 でできると、このでは、これでは、 でできると、このでは、これでは、 でできると、これでは、 でできると、これでは、 でできると、これでは、 でできると、これでは、 でできると、これでは、 でできると、これでは、 でできると、これでは、 でできると、 でできる。 ででき

ら20。 漫艦の最新な悪ぶべきであら をが配より見て、又続着けの関係 をが配より見て、又続着けの関係 をが配より見て、又続着けの関係

その稼穡をおれてはなられるからても事は公共的のものであるから **本海船来は、市營さする**

| 一般 | 本窓は在端同脳疾に告して、 | 大海小国氏の窓に、 | 液軍戦闘の一 しては保存會に於て決する。 さに努めなけ

大 西港の渡船にかける、露市街と老原屋のか分らの機能にのでも、別に定時のものでもりなく、「ちっても、別に定時のものでもなっても、別に定時のものでもなっても、別に定時のものでもなっても、別に定時のものでもなっても、別に定時のものでもなっても、別に定時のものでもなっても、別に定時のものという。又

なちぬ、酸酸酸でなくさも、質は なちぬ、酸酸酸でなくさも、質は なん は なん と は ないであらう

宮本勸業係視察談

三國人の畵展

日、隣、支三國のインターアンデーの日、隣、支三國のインターアンデーの日、隣、支三國のインターアンデー

姓方面の商況

宮本쀖業保は近況につ

解院にでも入

支那領に避難

他に決定しての機能を充分量率 く可決し近く監局さ挑戦をなし其 く可決し近く監局さ挑戦をなし其 社及警察當局では頭を憶ましてるとに上り之れが犯人逮捕に電氣會上に上り之れが犯人逮捕に電氣會上に上り之れが犯人逮捕に電氣會長に上り之れが犯人逮捕に電氣會 二日午前十時より温泉クラブに於 て麻雀大會を開催する事になつた 會賢一人二圓五十錢にて饗食さ賞 島を十時まり温泉クラブに於 得て組合さらての機能を充分養輝をなされためこの際臨局の認可を 太田滿鐵學務課長 町のニユー 最後 公主嶺農業學校 春地方事務所長 十四日 の卒業式 主 できて大監督場が定つてぬたといい できて大監督場が定つてぬたといい れた一等場がの概念が定つてぬたといい れた一等場がの概念が定つてぬたといい れた一等場がの概念が定つてぬたといい に又ごうした事か酔ひつぶれに 野はジッさしては居られずこれを ではジッさしては居られずこれを ではジッさしては居られずこれを ではジッさしては居られずこれを ではジッさしては居られずこれを ではジッさしては居られずこれを 嶺

觀光團

京大學生を皮切りに

今月中だけでも七團體

二十三日午前十時修

二十二日午前九時

セスを鑑賞せいものはなかつた 艦等監分の問題で客に疑びを呈す 殿師総次で二十七日には鳥一日は背島高女生、二十五

あり、根では、 を支那部に駐船せんり変化でした。 を支那部に駐船せんり変化であるとより、 を支那部に駐船せんり変化であるとより、 を支那部に駐船せんり変東に於ては、 を支那部に駐船せんり変東に於ては、 を支那部に駐船せんり変東に於ては、 を支那部に駐船せんり変東に於ては、 を支那部により重大税。 を支那部により、 をする。 といる。 と、 といる。

校の卒業式

乘客や驛員の

瓦

房

店

船舶賠償請願

称と其実され たが 衰弱の 結び

接てる管である

總領事懇親宴

品行方正、體位 座旁> 配行方正、體位 座旁>

ない。 ないでは、 ない 西安炭礦總辦

月)だから先づ探覧は重みなりに など二百〇五名の大世帯さいふこれでは容易に神経は生れて来ないさいふ紹識に顕著する、然と微製取いる経験は正十元から五十元(一ケの総称は三十元から五十元(一ケークを表している。 十時離社に数理し東本願寺に然て大院の書の遺骨供養に数認後正午

幼稚園修了式

時より小學校議堂で修了式へ舉行。 鮮人金組總會

リノリウムや板の間に比べたらち、 対ます、殊に愛し歴味や髄菌の果って、 神式の

教育の本質から見た

商業校入試問題

東黄を全うとたことを痛慢に思っ に整線だるもので、否人は内中の に整線だるもので、否人は内中の で、おは軟点線の駆使さが、就

五、A「小年職校の問題に長た

園山氏に答ふ

(可認物便郵種三第)

私どもは家庭で寫一篇されてゐる人物の歴史の一直さ

豕庭寫眞の

者さ一緒にいしたがが、数

れなども一人で寫すよりも家族のやうな智慣になつてゐますが、こ

イツティーヤ

ラク スルト、ガ

トマツテ、シバ

持疾問答

日

丸

號

1

ク

(+==)

次

朗

ガ

わかつて明趣の盡きない 出して見た場合お互の関係がよく

ものです

2)

能がなし從つて親みも配っくがありませんから、 ませんから たさへ窓 のです、

いた。 家庭師ないまったか言ったやうな ち、家庭師ないますさか、 赤ん坂の 出來ないにしても點段師にたのめ

アルズムに貼つて置いてもそれがの其影響によって意味づけられ、他をすから寫識そのものが、他々

ない位で、ごこの家のアルバムを 悪及しカメラか持たない人は残ご たいよれてあるのですが、さうも 見てもアマチユアの難しなずごこか も熟真の及ばない面は味があるも ◇・自分で 第でことが はあさで出して見てしるつばり面を終すことです脱離他所行きの服をして態所行きの確かした繁風

の相違があります。子供の顔など

んであるさころや、

昨日の日曜は絶対

大連の春は先づ電

脱肛、痔瘻(

ノナ特)等がありま

答

痔疾の治療法し最近 層科學の驚嘆すべき

大多数のものは俗にい

町門部に於け

上の網語であってい

りませつの

庭療法をお尋します

療疾といふのは警撃

あります**か**

的行為を催むことです、簡純影的

れると傾ゆるも既なきことにもな

切つて常園へ、電

ので、疣が破裂したり、出血した

指状の塊が出來るも

方法のなかつた電話も今では薬物に対法のなかつた電話も今では薬物

疾患に

日支英テ

御一人前

(語) 一

りして非常な苦痛を覚えます、

によって光明を見出し得るに至り

童

六人▲最も人氣か博して

あたの

死線を彷徨する一大繊維です。

致です、しかも技術を場合は奈郎に す、殊にその苦痛は懐暴寒害の極

腸カタル

(急性及び慢性)

洋食御定食

のかさなお客さんは千百六十

は新來のアザラシ君で類り

を存じま

を知りたい

薬物療法は安全簡易ですが、遺憾

消化不良

鼓

にして真に病根を絶つ良薬が稀で

て常智性の便能硬数

すがはありません、唯一つ「小松

常習便秘

美味

でに直腸の刺戟内臓

約三倍さ見るさ全入場者は實に百六十九枚▲子供の入場者が其

賈高が二千三

しい痛の伴は

見るさ全人場者は實に

事を惹起します、劉寿(ガッチャ

オがいづれも別を執る醫者の技術

策等いづれる油賦の

本花為後

●に稿葉響天磐大學長は在滿邦 ・ とは後、窓なくめれ▲土曜の戦 ・ 本計識堂・「監修された學術談派 本計識堂・「監修された學術談派 本計識堂・「監修された學術談派 本計画学・窓なくめれ▲土曜の戦 ・ に稿葉響天磐大學長は在滿邦。

静青新郎郎郎郎 就縁続 いいいいいいいにない。 島青 概島青 花島青 板 たみ吹れたのいたのい よれたいないたのい よれたよれたよれた

着人の職業の少かつたのは遺憾で、 人の職極能保険問題を大いにカ

平として 萬丈の氣を吐いて 居り的とし、機はざる 薬物界に、硫 的とし、振はざる薬物界に、硫

乳兒綠便

日本人は平線で盛り上に食べ物の 家庭では客室には大てい中央にテ 大の附近を形く際に敷切がたって は ーアルを置いて、楽客があつた場 まの附近を形く際に敷切がたって なってるますが、日本本来の壁の なってるますが、日本本来の壁の は しているますが、日本本来の壁の は しているますが、日本本来の壁の は しているますが、日本本来の壁の は しているますが、日本本来の壁の は なってるますが、日本本来の壁の は ないにない ないにない は ないにないにない は ないにない は ないにない は ないにない は ないにない は ないにないにない は ないにない は ないにないにない は ないにない は ないにない は ないにない はい はいにない はいにな のお相手をしてゐるさころなごま ならば家庭の中にいっ 籐椅子に怎れて新聞 の題材を求めた を讃んでゐる

談相

◆相談係宛 ◆相談係宛

最高水準

の薬

ます

痔疾薬の用法を伺ひ

椅子式が理想的

まことに不潔

を懸の上に置くのは

送る場合がかなり多いて思います。 さが出来ます、満洲在代者に内 寫眞機の修繕

の三種があります、貼布製は膨脂 は有後約二時間位で患部に吸收さ

三種があります、貼布敷は脱脂

薬と挿入薬と内服薬

お申越乞ふ)

取つた人にどの位満足を乗へるか ません(寫眞は内田氏撮影

では、 ならのを指すのかし ならのを指すのかし ならのを指すのかし ないこうし これ は今回協定された中華学校人與者 でいたが、 これでは、 ないこうとれて なる。 でも光線を除ぐこさが出来ますでも光線を除ぐこさが出来ますれたけ 内の状物店にたのめばごこでも弱か数ケ所あります、出連の関す (羅り小學校教員のみならず) 記して置く。アサリ鼠の水管の上かに理想的な問題であることを附 諸疾患、花柳

病、婦人病、長時間、

素を吸收し、便と共に時出しまい、肛門内で較くなり、影部の事

入薬は肛門に揮入すればよろし

れ樂堂を見ることが出來ます、挿話

効果二館し、ぐんぐんよくなるの を併用するに限る、雨々相俟つて 病者はなるべく貼布薬と挿入薬と

の単馬乗、房 す、日本人に多いのは胖便が起にの車馬乗、屏事の過度等でありま 第に駆化するものです。 も関係があります、初期緩慢、次 法をお教へ下さい

先づ第一に患部か冷 物や酒を節し、次に物や酒を節し、次に 軟便で規則正しく けること、第二に 以上三種を対互に併用することに
整へ内部から搾癖を下します。 用法でこれ女の効目あるかどうか 備これは大体「小松ちの職」を標 よつて薬物治療は完成されます

国の方式は

188 E

今般學生用トシテ着荷

旅順乃木町三丁目

井

ム側腕時計六圓以上

人の主観は他

(II)

で立派に、株成されてある。 が総典者の光程に於ては此の種 が総典者の光程に於ては此の種 が総典者の光程に於ては此の種 が総典者の光程に於ては此の種

新に、何自由、何素子に報達ないから、学が、 に、何自由、何素子に報達ないから、学校のでは、何自由、何素子に報達ないで、 に、 で、 に長な交換ださ思った。 出所 で、 に長な交換ださ思った。 出所 で、 に長な交換ださ思った。 出所 で、 に長な交換ださ思った。 出所 で、 に

だする問題!

我する問題

員の局部名称を要

萬部限り無代贈呈!

(りるに店祭名知)

養造元 發賣元

神戸市二春町 大阪市道经町

懿 神戸衛生實驗所

新市

電出語

六張

電話

-0

疾患者の福音

のある方は「ち疾恩者の」。この問答は紙面の都合

ドオフェルミンは 内腐敗、異常醱酵を して、腸の機能を正 はならしめますから らず、豫防及健康の はでもりめますから はでいるのみな に合理的治療 でありますから 官公私立大病院御採用

確實に奏効すめて安全且つの治療及び豫 小兒下痢

吸物―香ノ物付 金五十銭 おおき 井を始めました 7 海陸鮮 御贈答用御菓子種々 木 村電一二六番 木 村 村 本 村 運 產海 特 物 軍魚 御蒲 問用

文市市東町 具と 堂

屋達鉾 町

屋屋い 支本 店店

さくらもち さ しなも ち もか ちご

純日本料理は… 3 電五九六

電話四七八番

乃旅 木

町順

力

一、宴會一テーブル 五 圓一、和洋折衷料理 五 十錢 一、和洋折衷料理 一、和洋折衷料理

8

電話した七番

寸法 高さ一尺七寸、巾一尺一寸五分、長さ二尺

特許野間式ス 屋吳服店

春衣裳の魁帯側荷揃い春衣裳の魁帯側荷揃い 荷揃ひ

87-271 (O)

小學校【男子學生服(サージ、小 小倉の折襟

又最も進歩 何等の副作用がないから、安心して用ひられます。しかもぞ ベミールは、高貴樂の配合によつて出來たもので効目総大! 動にしかず、 痛まず、トテモよく効くのが貴い値打です。 ◆お腹充血 ◆結膜炎 ◆四彩炎 ◆たゞれ眼 お試し下さい。 ◆角膜炎 ◆源膜炎 ◆如彩炎 ◆ものもらひ ぜひ誰方も一座 するた す するため した最も優秀な眼薬であります。

家には國産品と

CUL

中智根醫學博士日く…メモールの使用は、血管を收縮せしめ、炎症を下降し、治病効果を奏するものである。 パミールは少しもシミズ、痛マズ極めて顕独な機帯影響で、耐も美眼嚢の二重奏である。 シミズ、痛マズ、治病効果の百%といふ三拍子織つたパミールは理想的の美眼觀である。 パモールは帝國職勢研究所が研究完成した本邦嚆矢の美眼難で安心して使用できる。 ・ルは美服敷として質用されたが、質は立派な服務で誠に恰好重質な服務である。

グな眼になります

***鈴木傳明氏日** ◆眼中爽快!しみず、痛まず、眼性が必らずよくなります◆惚れどくとするチャーミングな眼………まつたく眼千兩で ◆細い貧相な眼も、忽ちパツチリ! 見違へる程明るい眼となります ◆健康な眼は、いよく一澄んで、聰明そのもののやうな眼となります ハンドパックから、あの小さなパミールを取出して疲れた眼に注ぐのを見て よく銀ブラの折などに、不二屋や資生堂で、最もフレッシュな「彼女」等が … まつたく眼千雨です

* 岩水照子でん日く 位ですわる私自身の解験でも、メミールは本當に立版な申分のない英服薬だと思ひます。 れて私は美しい瞳の方は男でも女でも、皆パミールの愛用者ではないかと思 私も断然パミール蘇よ。パミールを用ひる方はキット美しい瞳の持まです。

若

々しくする美膚料

新製品發賣・大量生産により安價提供

一瓶



品絶の界世・威權の産國

ほんの少量で

全部が地肌に溶け入,

いお肌にする强力 がキ化粧下に、紳士方御家庭の素化粧に、粉 のヒゲそり後の整容に 止め美容料。





創製されたる 姉妹保健美容料

ジ用美膚料……脂 肪性

ルドラ

トハイゼニッククレー 4……脂肪中性

Ξ

+

五

のみ特に希望書籍の取次既

中産インテリの家庭は一ケ月間書

貸めに、會就に

定價賣

商物價引下げのこゑと共に 滿洲讀書了

名で執暇したもので、一般水職者

もあり、多年職職的カルテルの意眠でよて手を延げさんさの意

んなし、 に書籍の取り

巧妙は就職法

夢に耽ってゐた滿洲事籍雑誌商組 への大献音・得職い名記事!

整理本を安價に入手と被理本を安價に入手と被理本を安價に入手と

の光明が踏さ

圖書館だけ

朝鮮では

定價賣りの矛盾

こゝ許りは規約を無視して

一讀書子は語る

松福盛號

世界記錄突破か

百時間を飛ぶ覺悟

総を掘むこさが出来ないので、属された戦は三分の一中

電話五六八五掛

某書籍店主の話

愛郷する為めに

を**喰物にする男**

大連には先年小園螺が來て、大連には先年小園螺が来て、

は小町大様によって立

た脱目に、繋ずの塔碗な反脈修像松か物とてゐるものがある、師ち滿洲に在留する廿萬餘の同臓の標なくせられ、それが彩年の壁い鐵盤を持つ供給者の癥썹カルテル修総合によって一般微電階級の柳黙なくせられ、それが彩年の壁い鐵盤を持つ供給者の癥柢さし見るべき不露な貨騰な需要者が資ふべく餘儀ねるが、この物僧低落の潮流を離れて、定價の徹礎さし見るべき不露な貨騰を需要者が資ふべく餘儀中界的經濟機關による能物價の低率は、最近における世界的現象さして一機微型階級によろこにれて世界的經濟機器

中 あるものは能かに七十紀に満たりは繋じょって組織されてある。そしてこの不能でなる神経を舞つて、地域と極民地戦線の第一線に立つて、鬼政に經濟能性活を強む同じ、これらこさなとと話が保護、不能なる清冽書籍に設つて、関連によって組織される。一般に立つて、鬼政に經濟能性活を強む同じ、これを記してある、証明の関しさを監す唯一無二のものである。證書配によって一個の好化の盛設がバロメートされるささへいはれてゐる今日、この電な書籍供総書の手によって配総される、定像に五分掛け高の書籍雑誌が如何に滿洲の讚音子に書談か流してゐることか?植民地なるが誠に五分高に賣らなければならない。といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」といいまでは、「本語」とは、「本語」といいまで

月

Ξ

年

滿洲讀書階級 B 中日文化協會や滿鐵消費組合 い福音

の圖書館へ概入される書籍は、大 の圖書館へ概入される書籍は、大 の圖書館へ概入される書籍は、大

五圓以上五拾圓以内の違約

中心に年観察士、三

支那汽船衝突し

するのな「俺は税関員だ金か出さ

三月中特價提供

·高等學部

トラック

中古車各種

符楊日陸なるものが大洋三千三百平丸に乗りんさ急ぐ市内職長概止

カタログ進呈 シボレー

去る十二日折柄龍口向け出帆の龍

內火艇沈沒

我水兵二名行方不明

支那船はその儘逃走

な小臓子で楽播した、同人等はな小臓子で楽播した、同人等はないのである、水上署では犯人な

で傳へて臭れ」

般の讀書階級に

行はれいば、質

設けられ、組 規約中の割取 第十八條本組合中等四條及び其 瞬則に違反したる時(下略)は左 の決議に其き左の罰則を適用す

安く取りつぎ販賣

更に滿藏社戲の微型物資供総機關 緋織い最高機能を 一時 一時 が ・ お籤されてゐる 資質能を防避し、 一般はの間に の事では、 更にまた組合鼠の定質を の事では、 更にまた組合鼠の定質を でいる頭線能係項に戻する調でこれ、 昨秋以來中日文化總會ご書籍 では、これで音楽問題さなるのでは、これは定便寶りを殿守し

直接購入の方が

軍職長以下二十級名が日本租界第 は金州管内に歴 中五分軍艦・戸の内火艇で機關長 依頼されたのか

面にて沙河口霞町の强要

遼東自動車公司大連市山縣通三三

動人に劣らぬ程ある様子だ、株に たら購買量も増加もやうが、第一書時間も充分ない様な境遇に置か いから歳んに買込む、滿洲で買ふ警時間も充分ない様な境遇に置か いから歳んに買込む、滿洲で買ふ警察官は日毎の職務に追ばれて置 若くて下級の人達に向學心が激し 石井大連警察署長談

あるからさ小洋

犯罪捜査に

却つて安あがり

一割引でも 車夫稼業 騙つた金で馬

寫真說明

り「若し際版されたならば本籍地して居った強盗犯人周子版(こと)よ した際、沙河口蟹町十五丁目共同した際、沙河口器に電散されて居つた にて沙河口器に電散されて居つた ではかまりまして種族されんと 內白宝山馬車收容所內馬車夫周 ころ從架中を楽見

の自供

三人組强流

雑貨屋を襲ふ

昨夜西町に

口… 关於拾円(級月拂込五円) 六回滿了

初面抽銭・三月三十日

切·三月二十五日

見られてゐる

損はな

文化協會の

萬引女

さかつたここや木谷蔵サセツンマ の動力に付き飲ンダのハイセン選手と繁戦し悠々 と胃頭し選手の 野部補の取録さ 時價二十八圓) 去る十四日消費 町七十三番地大野シ 婦人で注意 組合でお召一反

刑事連惱む 自轉車ドロ

てからは奇妙に

大良さんさ云へ 鬼だつたが、今

市會議覧の低波

外國の選手に

劣る邦人の體力

歴後に かり かけの 戦 ひなど述べ と

最後に北歐の一

岡部監督以下三選手

歐洲遠征の報告會

上の比較後 上の比較後 上の比較後

場の少

中に取って論じ四

選を期するがた。ボカく、温かくなつて家と外に出進を期するがた。ボカく、温かくなつて家と四歩くこれから空東娘ひが無深するの影響を食って最近大連器では変級層けが減切りの影響を含って多く銀日三菱が至四弦の姿盤であり、それに窓んだ自転車を踏ってお上選手木谷湾、来るかちそれまで自転車を踏ってお上選手木谷湾、来るかちそれまで自転車を踏って、おります。

及さんは多数で特に賭がには そのお顔の黒い所に昔 可成りな所で な止めて居

も奥さんにはかなびません。

見れ」で酸品を詳默する新

にうれらい、うつくとい光駅でてかる脚を機関して下さい。 管

三月十五日より

磐城町

藤田タンス製造販賣店城町(大日活向ひ)

大特價提供

[三百本]

式桐タンス 並に月賦販賣の御相談に應じます

とうしているというできるという 工業檀細工購買醫開催 々御引立に預り有難く御禮申 らりますが折角水久の御家質さらて御子孫まで終めみ安く一見素人にては判別し兼ねるもの纏りませんが細工が粗穏であつたり館木を用纏が表現れても一見素人に「中しましても寸法外視征來紫檀橋工さ一口に申しましても 問質會を御利用下さ はまず、就而は品質 はまで降へられる可 大連伊勢町(吉野町角)

责任販売

日支公司 振替口座大連二九五三番電話六七四八番

梶田小兒科醫院 越後町岩狹町角電六七五〇

いっとははころうなりにのいればし

籐椅子各種

連載断観座通り

マイカー 大手の歌病で他療法もカー 大手の歌病で他療法もカー 大手を寄き切手を添ねする。一般などである。 一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などでは、一般などのでは、一般ないでは、一般などのでは、一般ないの 特色位置 学 業後高等學部二連終アリシオ音明月七日、第二二二四年級入若千名

新着 荷 電話二二二五四番

シなるものを拘引したが、同人は 一族より山東省三州府生び、元艦員 所より山東省三州府生び、元艦員 が一族より山東省三州府生び、元艦員 が一族とり、一大地 の様数が(2 本

學·徒生

朝日物產 江井ケ島酒造株式會社 灘の銘酒 一番よい

ノーシン!! 頭痛!ノーシン!!

純國產飛行船

電平氏さ政夫氏さは小窓の間標で、 大連點へ解決がを持ち込んだ、奥ス

な 出て の言ひ分

な後、小農校教員を五年間・電腦と、小農校教員を五年間に実際が起り、健康性の自然によってあるらしい、シグの自然に大き子供、てあるらしい、シグの自然に大き子供、であるらしい、シグの自然によれてあるらしい、シグの自然によれてある。第1で整時には一種快味されりの自然によれていさのことで一般が乗り、健康性の時は認い、おいさのことで一般が乗り、健康性の時によれてある。第1でから、よいでのは、一個によれてのでは、一個によれているのでは、一個によれている。第1では、一個によれている。第1では、一個によれて、一個によれて、一個によりでは、一個になりでは、一個になりでは、一個には、一個になりでは、一個になりでは、一個になりでは、一個になりでは、一個になりでは、一個になりでは、一個になりでは、一個になりでは、一個になりでは、

きであるさ保管は語つてゐる

一様あり、これも一緒に買受けたが 同番地に中村政夫氏所有の木造建た所 同番地に中村政夫氏所有の木造建た所 に対している際ではない。 で警察へ

聲の化物 京山小圓大椽

日本各地 北海苔佃煮 る産 大阪 金山寺味噌 遠州 濱納 豆 大阪 本場なら漬

東京風菓子謹製

界各國酒類 食料品

